

かながわコミュニティカレッジ講座 修了生インタビュー

令和5年度

「聞き書きボランティア養成講座」受講 講座実施団体：聞き書きの樹

今年4年度

「園芸療法ボランティア入門講座」受講 講座実施団体：NPO法人日本園芸療法研修会

「地域活動リーダー養成講座」受講 講座実施団体：輝楽理庵

令和4年度の『地域活動リーダー養成講座』を受講された川辺由里子さんは、令和5年度の同講座ではスタッフとして入れ、新たな受講生の皆様のバックアップをされていました。受講当時の様子も含め、お話を伺いました。

～きっかけはお母さまの介護～

現在介護職員として働く一方、ケアマネージャーの仕事もスタートすることのこと。

「母の具合が悪くなった時、大阪まで通わなければいけなくなって。その時のケアマネさんが、自分で面倒を見る時間を仕事にすれば、とアドバイスをくださいました。交通費の足しにでもなればと考えたのがきっかけです。そこから勉強して資格を取り、始めて見ると楽しくてしょうがない。こんな仕事があったんだ。」と思ったそうです。

～コミカレ講座との出会い～

そもそもコミカレの講座は、どうやって知ったのでしょうか。

「図書館でチラシを拝見しました。まずは安い！と思いました。最初に受けたのは令和4年度の『地域活動リーダー養成講座』でした。リーダーという言葉に、私なんて…と思ったのですが、こんな方におススメ！というチェックボックスを見まして。」

それがピタリとはまったそうです。

講座修了後は講師の吉岡先生（講座実施団体：輝楽理庵代表）とつながり、たくさ

んのアドバイスを頂き、今年度はお手伝いする立場となったそうです。

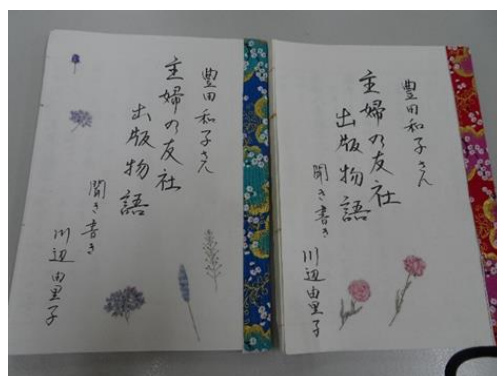


講座の様子 地域活動リーダー養成講座

～『聞き書きボランティア養成講座』 実は大変でした～

令和5年度の秋に上記の講座を受講されました。

「施設のお年寄りのお話を伺うことも多く、それがきっかけでした。講座では、現在90歳女性で、元「主婦の友」の編集長を務められた方のお話を伺って一冊にまとめるのですが、それがもう大変で……。でも、完成した時は感激しました。いつか出会った素敵な人生の先輩方の聞き書きができたらと思っています。」



講座で作成した聞き書き集

～『園芸療法ボランティア養成講座』 今も学び続けています～

さらに、令和4年度に上記講座も受講されましたが、園芸療法は少し毛色が違うように感じました。

「これはもう、ただただ植物が大好きで。施設でエントランスに生花を活かしていただいているのですが、期間が過ぎて捨てるものを残してもらい、お仏壇をお持ちの方に、アレンジして飾ってもらっています。」

講座修了後もその時のメンバー7～8名と講師の先生とで、勉強会を続けているそうです。園芸療法であったり、アレンジであったり、幅広く学んで1年が過ぎました。」



園芸療法ボランティア入門講座 実習「押し花」

～今は学びの時かなと～

今後の展望について伺ってみました。

「子どもの手が離れ、やっと自分の時間が持てるようになったところです。今は色々なことに興味が湧いてきています。ようやく学ぶことが楽しくなってきました（笑）」

高齢者と関わる仕事にご縁をいただき、今度はその経験が少しでも役立つように恩返ししたいです。」

よく時間があるなあと思ってしまうのですが、昔から母の代わりは自分しかいないと思って、自身が元気でいられるように留意していたそうです。お子様が幼い頃は

母であることを第一に。今もできる範囲での仕事をして、自分の時間も大切にしていっぱやいました。

～インタビューを終えて～

「私なんて何もしていないのに」と何度もおっしゃっていましたが、受けた講座の講師や受講生とつながり、新たな講座の受講や、スタッフとして活動されている姿は、生き生きと輝いていて楽しそうです。

話の合間に「子育てサークル」「外国人」「異世代交流」の言葉も飛び出し、ものすごく地域活動に携わっている方だと感じました。

講座のスタッフさんとしての川辺さんは、とても細かい心遣いをしてくださり、何かあればすぐに報告を怠らない、そしていつもにこやかな優しい女性です。一緒に何かやろうよ。みんながそう声をかけたくなるんだろうな、と納得しました。

川辺さん、楽しいお時間をありがとうございました。

令和6年1月27日取材

小林

(かながわコミュニティカレッジ事務局)